

# マキナックアイランド(米国ミシガン州)



島内に建つ避暑用の別荘も、古き良き時代のアメリカを忍ばせませ



そこは自動車のないアメリカの街  
18世紀から続く古き良き街並みを馬車で巡る

毎年6月に10日間にわたって開催されるライラック・フェスティバルでは、19世紀の面影を残す中心部での市民マラソンも行われています



マキナックアイランドの図書館には町の歴史を知る蔵書も収められています



自動車の乗り入れが禁止されている島では、馬車が主な交通手段となります



アーチロックと呼ばれる不思議な形の花崗岩は、長い年月をかけた自然の造形です



島のランドマーク的な存在のグランドホテルの庭には、馬車を象った植栽も施されています

クルマ大国の米国にあつて自動車産業をリードしてきたミシガン州に位置しながら、19世紀初頭から自動車よりも馬を優先してきたマキナックアイランド。五大湖の二つ、ヒューロン湖の北端に浮かぶ島での移動は、主に馬車が使われ、18世紀を思わせる街並みとも合わせて、その非日常的な空間は多くの旅行者を惹きつけてやみません。

## 人口500人の島に100万人の旅行者

果樹園が多く、のどかな田園風景と美しい街並みが特徴の島には、州内の人々をはじめ、隣接するウイスコンシン州やカナダからも多くの旅行者が訪れ、人口わずか5000人という島への旅行者数は年間100万人近くに及んでいます。19世紀後半には、毛皮産業と漁業に代わつて、観光産業が基幹産業として位置づけられるようになりました。

自動車の乗り入れを禁止する島の伝統は1800年代にまで遡ると言われ、移動手段として利用される馬の数は最盛期の夏場には600頭にも達し、島の人口を上回るまでになると言います。島の経済を支える観光を担う中心的な役割を果たしている馬はとて大切にされていて、毎年6月に開催されるライラックフェスティバル

の際には、動物への恩恵式典も実施され、馬だけでなく犬に対しても、人間との特別なパートナーシップへの感謝が捧げられています。

## 五大湖に浮かぶタイムカプセル

マキナックアイランドの代表的なホテルとして知られているのが、島のランドマーク的な存在となっているグランドホテルです。宿泊者以外の旅行者にも、有料のガイドツアーが用意されているほどで、グランドホテルでのランチビュッフェやアフタヌーンティーなどは、旅行者の憧れとなっています。

また、島の「名物」とも言えるのが、ファッジと呼ばれる柔らかいキャンディーのようなお菓子です。マキナックアイランドのオリジナルではありませんが、フレッシュクリームとバターで作られる18世紀から続く伝統のお菓子は、散歩で疲れた体を癒すにはもってこいで、歩きながらファッジを食っている島の人々も少なくありません。

マキナックアイランドを訪れたら、ぜひ、見学してみたいのがアーチロックと呼ばれる不思議な形をした花崗岩です。長い年月をかけた自然の造形は、文字通り、アーチ状になつていて、絵画のような美しい景観が多くの人々を惹きつけています。

18世紀から時の流れが止まってしまったかのように、古き良きアメリカの雰囲気濃厚に漂うマキナックアイランドは、五大湖に浮かぶタイムカプセルのような島です。